

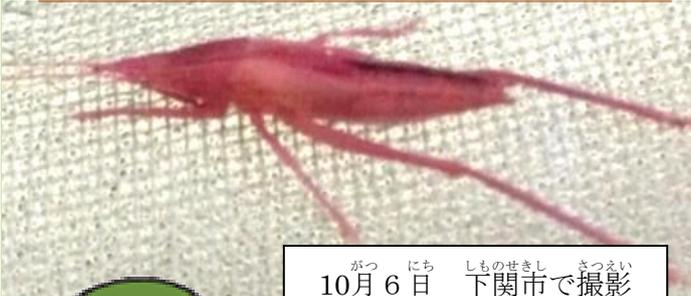


なるほどなっとくニュース

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

昆虫ってふしぎ?! ②

成虫で冬を越す!



10月6日 下関市で撮影



冬眠からさめて、春から鳴き始めるのね。

クビキリギス
ぜんちょう (全長55mm~65mm程度)
ていど
 体色は緑色と褐色のものがよく見られます。時には写真のような赤色も見られます。指に噛みつくとき離さず、無理に引っ張ると首が抜けるのでこの名前がついたようです。
なまえ
 夜行性で平地の草原や水田の土手などで見られます。鳴き声は「ジー——」。

バッタやキリギリスは晩夏~秋によく見られる虫というイメージがありますが、このクビキリギスは、秋に成虫になり冬を越します。翌年の春から初夏にかけて産卵します。卵は初夏から夏にかけて孵化します。また、メスはオスと交尾しなくても産卵することができる能力があります。



スズメバチ、クマバチを喰らう!

(10月16日下松スポーツ公園で撮影)



クマバチは日本のミツバチの中でも最大種です。スズメバチより大きいので、クマバチが襲われることはないと思っていました。肉食のスズメバチは、アザギマダラではなくクマバチを執拗に攻撃し、最後は食べてしまいました。
 すぐそばにいたアサギマダラは、幼虫の時にはガイモ科のカモメヅルの葉を食べ、毒性の強いアルカロイドを取り込んで毒化し、敵から身を守っています。